

事業所名 グループホーム 長楽園

日付 平成 21 年 2 月 21 日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 健康運動指導士
実務経験10年以上

大学講師
フォトグラファー

自主評価結果を見る (評価内容と一緒に添付しています。)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

グループホーム長楽園は、主要幹線道路に面した、交通の便に恵まれたところにある。敷地は広く、駐車場も完備し、火災等の災害が発生した場合の避難場所も確保されている。施設の中は、広いホールとその先に機能訓練室があり、入居者の居室の前には幅が2メートルはあると思われる広い廊下が一直線に設けられ、歩行訓練などにも活用されている。

職員は、入居者一人ひとりが生活機能を維持しその人らしく生活できるように熱心に取り組んでいる。また、家族の支援にも努めている。入居者は、フォークダンスや唱歌を楽しみ、ゆったりとした居心地の良い環境で安心して生活している様子がうかがえる。

また、管理者の思い入れもあって、ここには特別な訓練は受けていないが、マナーを身につけたセラピードッグがいて、人間との信頼関係ができ入居者の心を和ませている。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

広い敷地にゆったりとした建物空間に恵まれているが、その反面広すぎて全てに手入れが行き届いているとはいえないようだ。また、若い職員の確保が難しいようなので若い人材が永く勤められる環境を整える必要があると感じた。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	職員全員が入居者の生活を第一に考え、入居者には、存在感と生きがいを持ってゆったりと生活してもらい、そして家族の方には、安心感と安堵の気持ちを持ってもらえるグループホームをめざしている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	施設が広いことはさまざまな利点を持っているようである。たとえば、テレビのあるコーナーでは何人かの入居者がくつろいでいたり、居間から少し離れたところには広くて長い廊下があるので、雨天には歩行訓練等を行ったりすることもできる。また、ベランダに近いところには椅子が設置してあり、ゆったりと日光を浴びることができ、入居者のその時々で落ち着ける空間が用意されている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	面会者の名前など個人情報や他人が閲覧できないように、面会の際には箱にカードをいれてもらうシステムを導入している。また、入居者の個人情報や漏洩しないようにも配慮している。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	職員の研修に注力している。勉強会を開催したり、社会福祉協議会の開催する研修会にも参加したりしている。		